



明日を拓く

学校報
令和元年 7月12日
No.22
美郷町立美郷中学校

■1億円（模擬券）ずっしり！！1年金融教育

本校は今年度と来年度の2年間、秋田県金融広報委員会委嘱の金融教育研究校の指定を受けており（No.5号で既報）、その取組の第一弾として、7月11日（木）に、1年生を対象とした講演会が開催されました。

講師は、本町、本校に縁のある、日本銀行秋田支店発券課長のK.氏です。K.氏は現在は神戸市から秋田市に単身赴任されていますが、実は六郷小・中学校を卒業された美郷中生の先輩に当たります。中学校当時はバスケットボール部だったそうです。「みさと働きびと」に掲載されている黒川観光農園は弟さんの経営です。

主に、日本銀行の役割、日本の紙幣や硬貨の特徴、偽造防止技術、紙幣の寿命など、興味深い



事柄について分かりやすく教えていただき、身近なお金に対する認識を新たにしました。

中でも、1億円（模擬券）を自分の手で持ったり、役目を終えて細かく裁断された紙幣をもらったりなどの貴重な体験は、忘れられないものとなるでしょう。

K.氏は講演の締めくくりで、「中学3年間は『皆さん一人一人の人生の花をどう咲かせるか』という『根っこづくりをするための時期』！」「失敗を恐れず、チャレンジすれば、必ず人生の花は咲きます！！」と、生徒にエールを送っていただきました。

美郷町出身の先輩が国の要職に就いて活躍されていることは、生徒にとって大きな誇りであり、励みです。生徒は、わずか2週間の中で、世界が注目する探検家阿部雅龍氏、世界のトップアスリートオリンピック谷口浩美氏、そして、地元の先輩、日本銀行秋田支店発券課長K.氏

から、直接話を聴いたり触れ合ったり、指導を受けたりとかけがえのない時間に浸りました。一人一人が自分の将来について深く思いを致してくれたことを確信しております。

■雨にも負けず、風にも負けず♡奨励自力登校

うれしいことに、雨の日、ヘルメットに雨合羽で身を守り、自転車で登校する生徒や、傘を差して、大きなバッグを抱えて歩いてくる生徒など、自力登校の生徒が少なからず頑張っています。



バス通学者以外の生徒は、基本は徒歩か自転車での自力登校ですが、雨の日のトレーニングセンター駐車場と出入り口付近の道路は大渋滞です。小学生は徒歩で登下校、中学生は？…とは県内どこでもよく言われることです。心身を鍛えるはずの部活動が…ともよく言われます。

運転している保護者は会釈してくれますが、途中の景色や人々の様子を気にかけることもなく、重役気分の生徒も中には散見されます。安全に注意して、自力で登下校し、世の中を渡っていける生きる力を育みたいものです。

■きれいに咲いてね♡環境委員会水やり当番♡



好天の毎朝、環境委員会が花壇の水やりに励んでいます。農家の方は、農作物について「足を運んだ分だけ育つ」と話していました。

花も人の心を反映します。きっと、環境委員会の想いが通じてきれいに咲いてくれることでしょう。人も同じで、足を運び、声をかけた分だけ、期待に応えてくれるのではないかと信じています。

■県総体！フレー！フレー！ミ・サ・トッ！！